

森の時間

—山形大学農学部から
みなさんへ—

シヨウロというキノコ 品として流通するに至っ
たことを聞いたことのある若い人は少ないと思
います。年長の方で、子供 学校や酒田市と協力し
て、シヨウロの発生状況を調
るが、長いことお目にか
かったことがない、とい
う方はかなり多いと思
います。庄内地方のクロマ
ツ海岸林ではシヨウロと
呼ばれる菌根菌の子実体
が産出することが知られ
ています。このシヨウロ
はヨーロッパで産出され
るトリュフと近縁種で独
特の香りがあり、高級食
材として珍重される可能
性を秘めています。とこ
ろが、発生場所や時期、
潜在的な資源量などがは
っきりしないため、特産

油に変化してきましたが、
1960年代に石油が主
な燃料になる以前は焚付
けに森林から採ってきた
落葉や小枝が使われてい
ました。よく燃えるクロ
マツの落葉は貴重品であ
り、子供たちが松林から
落葉や小枝を拾ってくる
ことは日々目撃されてい
ました。シヨウロは日
常的に食膳を飾っていた
のでした。年長者に話を
聞くと、シャキシヤキシ
た食感があるので、丸
と醤油と酒の煮付け、薄
切りでガンモドキや炊き
込みご飯として食されて
いたといえます。
2014年から始めた
シヨウロの調査は、落葉
を除去したところと放置
したところで、発生状況
に違いがあるのか調べる
ことです。酒田市所有の
クロマツ林内に試験地を
つくって3年間調べてみ
ました。その結果、シヨ
ウロは植栽後5〜10年生
で地面に光が届くような
ところでは、東北地方太
平洋沿岸のクロマツ林は
2011年3月11日の大
津波で壊滅的な被害を受
けました。その後、仙台
市荒浜に住む年配の方か
ら、津波被害でシヨウロ
は絶滅してしまったのか、
という問い合わせを受け
ました。津波被害の直後
から毎年、宮城県内のク
ロマツ海岸林を見てきま
したが、つい今年4月、
仙台市荒浜の長大な防潮
堤の内側で、天然更新し
た若いクロマツの根元に
ゴルフボール大のシヨウ
ロを見つめました。問い
合わせを頂いた仙台市の方
にはすぐに報告して現
地を確認していただきま
した。津波被害を受けた
海岸林でのシヨウロの再
生は近隣に住む方々にと
って復興への大きな支え
になると思います。今後、
シヨウロが多く採れるよ
うになることを心よりお
祈りします。

クロマツ林のシヨウロ

野堀 嘉裕

種です。では、シヨウロ
はいつ頃から食べられな
くなったのでしょうか。
民家で使われる燃料が薪
や炭から石炭にそして石



天真学園高の生徒さんが見つけたシヨウロ(2015年10月23日筆者撮影)

若い林で多く発生するこ
とがわかりました。また、
発生時期は春と秋の年2
回あることがわかりまし
た。一方、地表の落葉を
除去したところと放置し
たところで収穫にはどん
ど差がないこともわかっ
てきました。収穫調査を
共同で行っていたいた
天真学園高のポランティ
アサークルの生徒さんた
ちは、大藁几帳面にシヨ
ウロを採ってくれたので、
落葉の下のシヨウロも見
逃さなかつたのです。お
そらく、昔クロマツ林に
落葉を取りに行った子供
たちは、きれいになった地
面からだけシヨウロを拾
って持ち帰ることで十分
だったのです。
ところで、東北地方太
平洋沿岸のクロマツ林は
2011年3月11日の大
津波で壊滅的な被害を受
けました。その後、仙台
市荒浜に住む年配の方か
ら、津波被害でシヨウロ
は絶滅してしまったのか、
という問い合わせを受け
ました。津波被害の直後
から毎年、宮城県内のク
ロマツ海岸林を見てきま
したが、つい今年4月、
仙台市荒浜の長大な防潮
堤の内側で、天然更新し
た若いクロマツの根元に
ゴルフボール大のシヨウ
ロを見つめました。問い
合わせを頂いた仙台市の方
にはすぐに報告して現
地を確認していただきま
した。津波被害を受けた
海岸林でのシヨウロの再
生は近隣に住む方々にと
って復興への大きな支え
になると思います。今後、
シヨウロが多く採れるよ
うになることを心よりお
祈りします。

(山形大学名誉教授)

本紙ホームページでも
カラー写真が閲覧でき
ます。